

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月5日

## 【評価実施概要】

|       |                                     |       |           |
|-------|-------------------------------------|-------|-----------|
| 事業所番号 | 0171401722                          |       |           |
| 法人名   | 医療法人社団 向仁会                          |       |           |
| 事業所名  | グループホーム よろこびの家 菜景                   |       |           |
| 所在地   | 北海道函館市松陰町1番43号<br>(電話) 0138-32-7070 |       |           |
| 評価機関名 | タンジント株式会社                           |       |           |
| 所在地   | 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内      |       |           |
| 訪問調査日 | 平成20年2月5日                           | 評価確定日 | 平成20年2月6日 |

## 【情報提供票より】(平成20年1月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                |                    |        |
|-------|----------------|--------------------|--------|
| 開設年月日 | 昭和(平成)18年2月22日 |                    |        |
| ユニット数 | 2ユニット          | 利用定員数計             | 18人    |
| 職員数   | 17人            | 常勤15人, 非常勤2人, 常勤換算 | 13.12人 |

### (2) 建物概要

|      |       |        |
|------|-------|--------|
| 建物構造 | 木造    | 造り     |
|      | 2階建ての | 1~2階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                 |          |            |                |      |
|-----------------|----------|------------|----------------|------|
| 家賃(平均月額)        | 43,000円  | その他の経費(月額) | 15,000~25,000円 |      |
| 敷金              | 有(円)     | 無          |                |      |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円)     | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無          |      |
| 食材料費            | 朝食       | 350円       | 昼食             | 400円 |
|                 | 夕食       | 400円       | おやつ            | 180円 |
|                 | または1日当たり | 1,330円     |                |      |

### (4) 利用者の概要(1月1日現在)

|       |          |      |     |    |     |
|-------|----------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 18名      | 男性   | 3名  | 女性 | 15名 |
| 要介護1  | 4名       | 要介護2 | 2名  |    |     |
| 要介護3  | 5名       | 要介護4 | 4名  |    |     |
| 要介護5  | 3名       | 要支援2 |     |    |     |
| 年齢    | 平均 83.2歳 | 最低   | 72歳 | 最高 | 93歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |   |
|---------|---|
| 協力医療機関名 | 函館ベイサイド病院(内科)・函館中央病院(内科)・藤岡眼科病院<br>函館病院(歯科)・さこ歯科クリニック |
|---------|---|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

函館市内の中心地の閑静な住宅地の中にある医療法人を中核とした複数の福祉施設を運営するグループホームのひとつです。「利用者の自立したい気持ちをくみ取り援助してホームの色を出して行きます。」を理念として職員全員が理念の実現に向けて一生懸命に取り組んでいる姿が伺えます。ホーム内にはウッドデッキが設置され、日光浴を楽しめたり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されています。またホームの職員と家族が一体となって充実した生活が過ごせるようお正月用のおいしい伊達巻きたまごの作り方や魚のさばき方の講習会等を利用者家族の指導の元に行われており、双方向の協力関係が築かれています。また健康管理についても、系統的に記録を管理し、共有化や省力化にも取り組んでいます。

## 【重点項目への取組状況】

|      |  |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)<br>前回外部評価では、日常的な外出の機会の促進が改善点として挙げられていましたが、年間計画が作成されて家族が参加する敬老会や函館山の見学、牛乳工場の見学が行われたり、日常的な散歩や買い物など気分転換のための取り組みも行われ改善に努めています。  |
|      | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)<br>管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、自己評価は全ての職員が参加して実施しています。前回の外部評価結果についてもホーム内で閲覧できるようにしています。さらに、改善点については、スタッフ会議で話し合い改善に向けて取り組んでいます。   |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)<br>運営推進会議は、評価日現在6回実施されています。主な主題についてはよろこびの家菜景の理念の説明<br>グループホームとしての地域密着活用<br>感染症対策とその取り組み(ノロウイルス・インフルエンザ対策)<br>町内会との交流<br>防災についての地域との協働の取り組みについて  |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)<br>「よろこびだより菜景」を季節ごとに発行して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介、運営推進会議の報告など日頃より家族との関係を大事にしており、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりを心掛けています。また、ケアプランも家族からの意見や希望を優先し、全職員でアセスメントし、利用者一人ひとりの生活歴の把握で、より質の高い介護計画の作成やケアサービスに活かされています。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br>幼稚園児の歌やお遊戯の開催、中高生の合唱披露などの交流や近所の方のマジックショーなどのボランティアの受け入れなど地域との交流促進に取り組まれています。また、地域とのふれあいを大切に、日々の散歩時の挨拶や地域の夏祭りでの交流、運営推進会議への町内会長や住民の参加など声かけが行われています。   |

## 2. 評価結果（詳細）

| 外部評価                         | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| <b>. 理念に基づく運営</b>            |      |  |   |                     |                                  |
| <b>1. 理念と共有</b>              |      |  |   |                     |                                  |
| 1                            | 1    | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 地域とのふれあいを通して、自由で豊かな心と生活が保てるように支援することを理念としてつくりあげ実践に向けて取り組んでいる。   |                     |                                  |
| 2                            | 2    | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 管理者、職員は理念の意味を含めてホーム内に掲示され、毎朝、朝礼時に唱和して職員間で共有されている。また、新規採用の職員に対しても理解して貰えるように説明を行っている。   |                     |                                  |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |  |   |                     |                                  |
| 3                            | 5    | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域のふれあいを大切にし、日々の散歩時の挨拶や地域の夏祭りでの交流、運営推進会議への町内会長や住民の参加、幼稚園児の歌やお遊戯の開催、中高生の合唱披露のボランティア、近所の方のマジックショーの慰問などの交流が図られている。                   |                     |                                  |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |  |   |                     |                                  |
| 4                            | 7    | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる   | 管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、自己評価は全ての職員が参加して実施しています。前回の外部評価結果についてもホーム内で閲覧できるようにしています。さらに、改善点については、スタッフ会議で話し合い改善に向けて取り組んでいます。 |                     |                                  |

| 外部評価                   | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------|------|--|--|---------------------|---|
| 5                      | 8    | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>              | <p>運営推進会議については評価日現在6回開催されている。メンバーは利用者家族、町内会長、地域住民、包括支援センター職員、保健所の職員、及び管理者・職員で構成され、よろこびの家菜景の理念の説明、グループホームとしての地域密着の取り組み方、町内会との交流等を議題として話し合われている。</p> |                     | <p>今後は、運営推進会議のメンバーが積極的に参加が出来るような議題の内容の工夫とさらに行政及び包括支援センターとの連携による研修会開催など具体的な活動の取り組みも検討していただきたい。</p>                                   |
| 6                      | 9    | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                                | <p>管理者は行政や地域包括支援センターと運営推進会議以外でも、研修会や勉強会に参加したりする等の協力を得ながらサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>   |                     |   |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |  |  |                     |   |
| 7                      | 14   | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>                              | <p>家族の面会の際は、日常生活の様子や健康状態の近況報告や行事の参加の案内を行い体調の変化のある場合は随時電話で連絡して安心していただけるように努めている。また、毎月の請求書発行の際に金銭管理の収支報告、領収書を添付し、近況報告、行事への参加の案内を送付している。</p>          |                     | <p>「よろこびだより菜景」を季節ごとに発行して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介、運営推進会議の報告など日頃より家族との関係を大事にしている。また、家族の面会の際は、全職員が利用者の近況報告をできるような体制づくりに努めている。</p> |
| 8                      | 15   | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                 | <p>家族からの苦情や意見は、早急にスタッフ会議での議題として情報を共有し、原因と改善策を話し合っている。また、法人全体での管理者会議の際も報告し、法人全体で取り組むように情報を共有して運営に反映させている。</p>                                       |                     | <p>職員の新規採用時など利用者や家族に速やかに伝えるために共用空間に職員の紹介をする掲示板の掲示などよりきめ細かく情報伝達する方法も検討されてみては如何か。</p>   |
| 9                      | 18   | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>管理者は職員に対して個人面談等で悩みなど聞き、気軽に相談しやすい雰囲気づくりも心掛けている。また、やむを得ない異動や離職の際は利用者に影響を与えないような配慮も心掛けている。</p>   |                     |   |

| 外部評価                             | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|----------------------------------|------|--|---|---------------------|---|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |      |  |   |                     |   |
| 10                               | 19   | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>                | <p>運営者は市主催の勉強会の参加や資格取得に向けての勉強の為に勤務調整などを行い職員育成に努めている。また、OJTについても、月一回の接遇の勉強会やホーム以外での研修に参加した職員の伝達講習、利用者家族によるお正月用の伊達巻き卵の作り方や魚のさばき方など身近に必要な事項の勉強会等も行われている。</p> |                     | <p>今後は、日頃より職員が取り組んでいるケアサービスについて、家族や地域の人達にさらに理解がされるように、食事のメニューや見守り、身体機能の維持・向上の取り組みなど働きかけを行う工夫を期待します。</p> |
| 11                               | 20   | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>       | <p>市やグループホーム協議会主催の勉強会や研修会で交流する機会を設けており、さらに同一法人内でケアや家族からの意見等の情報交換によりサービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>   |                     |   |
| <b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |      |  |   |                     |   |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |  |   |                     |   |
| 12                               | 26   | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>本人がホームに馴染めるように在宅時に使用していた物や生活歴を尊重して、ホームに馴染んで貰えるように努めている。また、早く馴染んでいただくために家族と相談し、協力を得ながら工夫している。</p>   |                     |   |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |  |   |                     |   |
| 13                               | 27   | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                       | <p>職員も利用者と一緒に調理をしたり、後片づけをしたり、編み物、ぬり絵、折り紙、将棋、囲碁、麻雀など利用者に教えてもらいながら信頼関係を深めるように努めており、喜怒哀楽をスタッフで共有して本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。</p>                                |                     |   |

| 外部評価                                  | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|---------------------|----------------------------------|
| <b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>     |      |   |  |                     |                                  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |      |   |  |                     |                                  |
| 14                                    | 33   | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>  | <p>毎月のカンファレンスの際に利用者の希望や意向を全職員が把握し、自由を尊重し、家族の希望や意向も踏まえて、職員間で話し合い本人本位の生活ができるように検討している。</p>                               |                     |                                  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |  |                     |                                  |
| 15                                    | 36   | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>     | <p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、介護計画を作成している。また、三か月に一度カンファレンス、モニタリングを実施して見直しを実施している。</p>                         |                     |                                  |
| 16                                    | 37   | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>三か月に一度カンファレンス、モニタリングを実施して、本人や家族、職員の意見を取り入れ現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>  |                     |                                  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |      |   |  |                     |                                  |
| 17                                    | 39   | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>   | <p>本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には町内での散歩や電車に乗っての買い物など柔軟に支援を行っている。また、近隣の観光地へのドライブや理美容院への訪問など出来る限り本人の希望が実現できるように支援している。</p> |                     |                                  |

| 外部評価                               | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|---------------------|-----------------------------------|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |  |  |                     |                                   |
| 18                                 | 43   | かかりつけ医の受診支援<br><br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。                      | 母体医療法人や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、毎週、健康管理や相談の為に看護師の訪問や歯科、内科医の往診の訪問もあり、適切な医療が受けられるよう支援されている。 |                     |                                   |
| 19                                 | 47   | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br><br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階からかかりつけ医や医療連携している看護師、家族と話し合い家族からの希望や意向を聞き相談や説明を行う方針が職員で共有されている。                |                     |                                   |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>     |      |  |  |                     |                                   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |      |  |  |                     |                                   |
| (1)一人ひとりの尊重                        |      |  |  |                     |                                   |
| 20                                 | 50   | プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 接遇の研修会を行うなどして誇りやプライバシーを損ねないような言葉づかいや対応を心掛けている。また、個人記録や記録は鍵のかかる場所に保管するなどして、取り扱いには十分注意している。              |                     |                                   |
| 21                                 | 52   | 日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 個々の利用者の気持ちが把握され職員間で共有されている。また、一人ひとりの希望や思いを尊重し、買い物や調理や食事の準備、麻雀や囲碁などの趣味への支援や、入浴など本人の希望やペースに沿って支援している。    |                     |                                   |

| 外部評価                          | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |      |  |   |                     |                                   |
| 22                            | 54   | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている    | 食事が楽しみなものになるよう、職員と利用者が一緒になって楽しんで食事や食事の準備をしている。また献立は、利用者の希望や嗜好も考慮している。また、ファミリーレストランや回転すしなどの外食の機会も用意されている。            |                     |                                   |
| 23                            | 57   | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 入浴日は決めずに、週2～3回を目安に利用者の希望に応じて朝、夕に問わず入浴できるように支援している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように心掛けている。                                    |                     |                                   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |      |  |   |                     |                                   |
| 24                            | 59   | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの生活歴を踏まえ、日々を楽しく過ごせるように麻雀や囲碁、編み物、折り紙などの趣味や一緒に調理をしたり、食後の後片づけ、モップがけなど一人ひとりの状態を見極めて取り組んでいる。また、気晴らしの散歩や買い物支援も行っている。 |                     |                                   |
| 25                            | 61   | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 利用者の希望にそって、買い物や散歩の他、毎月、ホーム内外の行事を計画し、敬老会や函館山の見学、牛乳工場の見学や大沼公園での紅葉ツアーなど外出の機会を設け利用者が戸外に出かけるよう支援している。                    |                     |                                   |
| (4) 安心と安全を支える支援               |      |  |   |                     |                                   |
| 26                            | 66   | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間の防犯を目的とした施錠以外は鍵をかけないケアに取り組んでいる。また外出の際は、職員がさりげなく同行し安全面での配慮もされている。            |                     |                                   |

| 外部評価                           | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|--------------------------------|------|---|---|---------------------|---|
| 27                             | 71   | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>                                | <p>防火管理者の資格者を配置予定で、火災避難訓練は消防署の協力のもとに年2回実施されている。緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように努めている。また救急救命の講習も法人全体で取り組み受講している。</p>  |                     | <p>運営推進会議の議題に上っている緊急時の町内への連絡網の作成や近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施し、日頃より協力が得られるような取り組みを期待したい。</p> |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援      |      |   |   |                     |   |
| 28                             | 77   | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>                                   | <p>具体的な食事摂取量・水分摂取量が記録されており、献立は管理栄養士の資格を有する職員の指導のもと栄養バランスやカロリーも考慮されている。</p>  |                     |   |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |      |   |   |                     |   |
| (1)居心地のよい環境づくり                 |      |   |   |                     |   |
| 29                             | 81   | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>居間は、オープンキッチンになっており、利用者が調理や食器拭きなど気軽に行えるような工夫がされており、豊のスペースでは、洗濯物を置んだり、利用者同士が談笑できるスペースも確保されウッドデッキでは日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。また、換気や温度調整も随時行っている。</p> |                     |   |
| 30                             | 83   | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>                   | <p>居室には、仏壇や鏡台、箆笥、椅子など使い慣れた家具などが持ち込まれ、家族の写真なども飾られ安心して過ごせる場となっており、一人ひとり居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>   |                     |   |

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。